

第11回もどりガツオ祭 1万人が旬の味を堪能

「第11回土佐さがのもどりガツオ祭」を、10月18日、黒潮一番館で開催しました。

漁師のおかみさんたちが、1年の豊漁と海上安全を感謝する気持ちから2004（平成16）年に手作りで始めた催しです。回を重ねるごとににぎわいを増し、秋晴れとなった今年は、過去最多の1万人が来場しました。

昨年より開始時間を早め、午前9時30分にスタート。会場にはカツオはもちろん、幡多地域の特産品などの出店が並び、ステージ前



ではフラダンスショーやよさこい鳴子踊り、魚の重量当てクイズなどが行われました。

恒例のカツオの一本売りは、開始前から人

だかりができ、用意した約700kgが約1時間で完売。祭限定「カツオ御前」の当日券は午前中に完売。前売券の抽選も豪華景品に歓声が上がリ、大盛況でした。

（水産振興係）

（写真）1、脂のつたもどりガツオ 2、重量当てクイズの優勝賞品もカツオ！ 3、佐賀保育所児童のよさこいソーラン節。4、子どもに大人気！一本釣りのゲーム。5、カツオ丼と湯かけの早食い競争。6、食事スペースにはTシャツアート展も。



鈴ひまわりクラブ 集会所でモーニング

11月3日、鈴ひまわりクラブの主催で300円モーニングが提供されました。

鈴ひまわりクラブは、町老人クラブ団体として、今年4月、10年ぶりに再出発しました。浜田佐恵さんを会長とし、会員40人で組織しています。

同クラブでは、「家に閉じこもってばかりはいかん。みんなが集まって何かをしよう」と、隔月で配食弁当サービスとモーニングを実施しています。

この日は6人のボランティアが集まり、集会所は珈琲の香りと会員さんたちの笑い声に包まれました。

（福祉係）



上・モーニングに集まった鈴ひまわりクラブの会員の皆さん。右下・この日のメニューとボランティアスタッフたち。



平成26年度 黒潮町戦没者追悼式

11月6日、ふるさと総合センターで、戦没者追悼式が行われました。ご遺族や関係者など約150人が参列し、戦没者のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。

（福祉係）

